

令和5年度 学校教育目標 **笑顔でつながる あたたかい学校**

～「動と静のけじめ」「あたたかいつながり」を通して～

佐世保市立赤崎小学校
校長 藪 英彦

はじめに

「笑顔でつながる あたたかい学校」とは

「笑顔でつながる あたたかい学校」とは、子ども・教職員・保護者・地域の方 等、学校に集うたくさんの人たちが、笑顔でつながり、あたたかい気持ちになる学校です。「赤崎小に行くにあたたかい気持ちになる」とだれもが思える学校が、「笑顔がにつながる あたたかい学校」です。

ふるさとに生きる人々と連携・協働する特色ある豊かな教育活動を通して、関わる人と笑顔でつながり、あたたかい気持ちにできる子どもを育てましょう。「動と静のけじめ」「あたたかいつながり」のある教育活動を通して、自らすすんで考え、共に前進し続け、学校に集う人々と「笑顔でつながる あたたかい学校」を、子どもたちと共に創りましょう。

1 子どもたちが明日も来たくなる 楽しい学校づくり

「3つの『あ』 3つの『は』」

(1) 3つの『あ』とは、「あいさつ・ありがとう・あとしまつ」

「明日も来たくなる 楽しい学校」にするためには、笑顔でつながる あたたかい「あいさつ・ありがとう」が大切です。相手に合わせて、相手に喜んでもらえる、声の大きさ・表情・所作での「あいさつ・ありがとう」が、「笑顔でつながる あたたかい あいさつ・ありがとう」です。「あとしまつ」は、次の人への「思いやり」です。次に使う人があたたかい気持ちになれるような「あとしまつ」のできる子どもを育てましょう。

(2) 3つの『は』とは「ハイの返事・はきものそろえ・はしらない」

「ハイ」の返事は、相手の話をしっかり聞いている合図です。はきものがそろい、廊下をはしらない学校は、だれもが落ち着いて安心・安全に生活できる、明日も来たくなる楽しい学校です。

それぞれの立場で、それぞれの場所で、子どもたちを鍛えていきましょう。そして、自分の見方・考え方で自分らしく行動できる「笑顔でつながる やさしい子ども」を育てていきましょう。

2 保護者に信頼される あたたかい学校づくり

「動（ガヤガヤ）と静（ビシッ・シーン）のけじめ」ある授業（取組）

(1) まず規律（ビシッ）を身につける。

授業（取組）において、「はじめ」と「おわり」はビシッとした礼節のある号令、授業中は規律ある話し方・聞き方・返事（ハイ）ができる子ども（学級）づくりに、根気強く取り組みましょう。

(2) 活動したくて話したくて（ガヤガヤ）、聞きたくて書きたくて（シーン）が本気の姿です。

本気のガヤガヤのある授業（取組）をめざしましょう。そして、その学びを振り返るじっくり書く時間（シーン）を確保してください。その繰り返しで、確かな学力につながります。

(3) 家庭学習の定着は学力向上の土台です。

学力向上するために家庭学習の定着は必要です。系統的かつ効果的な家庭学習となるよう、家庭学習の内容や確認の仕方を同学年で共有し、子どもたちの自主自立した家庭学習を保護者があたたかく支援することのできる家庭学習の習慣化を図っていきましょう。

3 地域に愛される 開かれた学校づくり

1年間を3期に分け、目標をもたせ、「できた」「わかった」「成長した」と実感させる。(キャリア教育)

○1学期：にこにこ (安心) 期間

- ・「学校が楽しい」と思える支持的風土のある学級づくり、仲間づくり
- ・基本的な生活習慣、学習規律、家庭学習の定着

○2学期：じっくり (充実) 期間

- ・授業の充実 (ビシッ・ガヤガヤ・シーン・ビシッ)
- ・ふるさとに生きる人々と連携・協働する特色ある豊かな教育活動の充実

○3学期：かがやき (達成・感謝) 期間

- ・1年間の学びの価値づけ (学習発表会 等) で「みんなで、できた」の共感
- ・1年間の学びを支えてくださった方への感謝「みんなに、ありがとう」を伝える

◎子どもたちの1年間の学びを発信し、価値づけ・可視化で自尊感情を高めていく。

※学校日より毎月2回発行、掲示、ホームページの充実

4 子どもと職員がしっかり向き合える ゆとりある学校づくり

わたしたち (教職員) は、大切な子どもの手本です

(1) 「笑顔」を大切に生きる

「笑顔」は子どもたちだけでなく、我々教職員にとっても大切にしたい言葉です。大人として笑顔で働く姿が、大切な子どもの手本となります。「働き方改革」は「生き方改革」です。笑顔で働くためには、服務規律の遵守と同時に、余暇の充実やリフレッシュも大切です。よく働き、よく遊び、よく食べ、よく眠ることが大切です。

そして、「笑顔でつながる あたたかい生き方」で人生を楽しみ、「子どもと職員がしっかり向き合える ゆとりある学校」をめざしていきましょう。

(2) 気づき、支え合える、あたたかいつながりのある職場をつくる。

縁あって、これから1年間、共に働くことになった大切な仲間です。3月に、「笑顔で元気で楽しい1年だった」と全員で喜びを分かち合えるような1年にしていきましょう。

そのために、互いに気づき、支え合い、あたたかいつながりのある職場をつくりましょう。自分のことも、仲間のことも、子どものことも気づきはすぐに伝え合ってください。一人では無理でも、みんなでならできることがあります。どうせやるなら、みんなで支え合って楽しくやりましょう。

それが、「笑顔でつながる あたたかい職場 (学校)」です。

～「みんなで、できた」「みんなに、ありがとう」～

「みんなで、できた」「みんなに、ありがとう」は、3学期：かがやき (達成・感謝) 期間の合言葉です。子どもたちは1年間にたくさんの取組を行います。その1つ1つを「できた」で終わるか「できなかった」で終わるかはとても重要です。「できた」を重ねると、「自信」や「勇気」が生まれます。自分が好きになります。人から信頼される人になります。

しかし、「できた」を重ねることは簡単ではありません。「できた」を重ねるために3つのことが大切です。

1つめは、「続ける」です。決めたことは必ず続けていけばある程度のことはできます。

2つめは、「仲間」です。一人では無理でも仲間や教師の励ましがあればできることもあります。

そして仲間と一緒に取り組めば、「みんなでできた」というすてきな思い出ができます。

3つめは、「工夫」です。自分にあった目標や内容、取り組み方に変えたり、目標を達成した人の取り組み方をまねたりする工夫があります。

子どもたちが「続ける」「仲間」「工夫」で、たくさんの「できた」を積み重ね、「自信」「勇気」「自尊感情」を高めていける「笑顔でつながる あたたかい学校」を、「動と静のけじめ」「あたたかいつながり」を通して共に創っていきましょう。